

トリニティムーン利用規約付き使用フリー脚本
『伝説の女勇者と紅の魔女@メイド喫茶』

2016/07/01
高辻カンナ

女勇者……伝説の女勇者エルザ

メイド……紅（くれない）の魔女アカネ

店員……メイド喫茶の同僚

-
1. メイド 『使用フリー脚本 009』
 2. 女勇者 『伝説の女勇者と紅の魔女@メイド喫茶』
 カランカランとドアベルの鳴る音。
 3. メイド 「お帰りなさいませ、お嬢さまあ」
 4. 女勇者 「わ、私はお嬢様じゃないわ！」
 5. メイド 「失礼しましたあ。ではお帰りなさいませ、ご主人さまあ」
 6. 女勇者 「ご主人様でもない！ 私は女勇者エルザよ！ 忘れたとは言わせないわ、紅の魔女っ！」
 7. メイド 「ごめんなさあい、お嬢さまあ。このメイド喫茶トリニティムーンにお帰りになるのは、初めてじゃなかったんですねえ。でも申し訳ありません。覚えてないんですう。えへっ」
 8. 女勇者 「えへっ、じゃない！ ふ。それもそうね。私を覚えていないのも無理はないわね。お前がサイリア王国を滅ぼしにやって来たのは、私がまだ5歳の——」
 9. メイド 「さえぎって）お嬢さまあ。他のご主人さまが、後ろでお待ちになっておられますう。お話は、テーブルにお着きになってからでよろしいですかあ」

10. 女勇者「あ、あ。うん。じゃあ、それでいい」
11. メイド「お嬢さまは、おひとりでお帰りですかあ」
12. 女勇者「そうよ！ お前を倒すために集まった仲間たちは、一人また一人とモンスターにやられ、ついには私だけになってしまったのよ！」
13. メイド「では、こちらのお席にどうぞお」
14. 女勇者「あ、あ。うん」
15. メイド「お嬢さまのお世話をさせていただきます、メイドのアカネと申します。よろしくお願ひします」
16. 女勇者「そうなの。紅の魔女の本当の名は、アカネと言うのね。その名前、お前の墓に必ず刻んでやるわ！」
17. メイド「お嬢さまのお名前は、エルザさまでよろしかったでしょうか」
18. 女勇者「そうよ！ 私はサイルリア王国のエルザ姫。聖なる剣（つるぎ）、ルーンブレイドに選ばれた、伝説の女勇者なのよっ！」
19. メイド「はい。では、エルザお嬢さまとお呼びしますねえ」
20. 女勇者「あ、あのね。私の話、聞いている？ きちんと理解してる？」
21. メイド「だいじょうぶです、エルザお嬢さまあ。きちんとお話について聞いていますよお。お嬢さまはお姫さまで、伝説の女勇者さまでもあるんですねえ」
22. 女勇者「う、うん。その通りなんだけど。私がないで、お前のところにやってきたか、ちゃんとわかってるのよね？」
23. メイド「うーん。そうですねえ。このトリニティムーンは普通のメイド喫茶と違って、お側に専属のメイドがお仕えして、そのメイドとゆっくりお話ができるのが自慢なんです。だから選んでくださったんですよ？」
24. 女勇者「違うわ！ お前とお喋りするのために、私は来たんじゃない！」
25. メイド「そうですかあ。ここはメイド喫茶ですからあ、普通にメイドを眺めたりい、一緒に写真を撮ったりい、もちろんお料理を召し上がることもできますよお」

26. 女勇者「お、お料理？」
27. メイド「はい、トリニティムーンのお料理は、美味しいことで有名なんですよお。こちらのメニューをどうぞお」
28. 女勇者「メニュー？」
29. メイド「人気は、きゅんきゅんオムライスでえす」
30. 女勇者「きゅんきゅん……オムライス？」
31. メイド「はい。メイドのあたしがケチャップで好きな文字を書いて、美味しくなるよう、特別な魔法をかけるんでえす」
32. 女勇者「魔法！ やはり紅の魔女。魔法はお手のものと言うわけね！」
33. メイド「はい。でも、あたしだけじゃないですよお。この喫茶店のメイドなら、みんな美味しくなる魔法が使えまあす」
34. 女勇者「くっ！ このメイド喫茶にいる者すべてが、呪われた女魔法使いというわけなのね。恐ろしいところだわっ」
35. メイド「恐ろしいお店ではないですよお。明るく楽しく萌え萌えで、明朗会計でえす」
36. 女勇者「ふふ。だがそんな魔法などはねかえして見せるわ！ 私にはこのルーンブレイドがあるのだから。よし、できるものなら私に魔法をかけてごらんさー！」
37. メイド「はい。では、きゅんきゅんオムライスをご用意いたしまあす。おまちくださいませえ」
38. 女勇者「よし、どこからでも来なさいー！」
- メイド、去る音。
戻ってくる。
39. メイド「お待たせしましたあ。シェフにエルザお嬢さまのため、とびつきり腕をふるうよう命じてきましたあ」
40. 女勇者「その……魔法には、時間がかかるの？」

41. メイド「申し訳ありません、エルザお嬢さまあ。そうなんです。トリニティーンには一人しかシエフがおりませんので、少々お時間をいただきませす」
42. 女勇者「では、それまで何をすればいいのよ？」
43. メイド「もちろんお話ですう。エルザお嬢さまは、どちらからお帰りになったんですかあ」
44. 女勇者「言ったでしょ！ サイルリア王国だわっ！」
45. メイド「海外ですかあ。嬉しいですう。最近はこのメイド喫茶もいろんなホームページに掲載されて、海外からお帰りになるご主人様也多いんですよ」
46. 女勇者「ホーム……ページ？ それは何？」
47. メイド「この喫茶店の紹介から、お勤めしているメイドの写真、空港から秋葉原駅までの行き方、この店の地図などが載っているんですよ」
48. 女勇者「なんですって？ ホームページ、それはいわゆる『魔法の地図』というものなの？ この世界にやって来てからも迷いに迷い、やっと秋葉原にたどり着いたというのに！」
49. メイド「あらあ。羽田空港から秋葉原は、東京モノレールに乗って浜松町まで来ると早いですよお。成田空港からはスカイライナーで日暮里まで来るのが便利でえす」
50. 女勇者「そ、そんな手があったのね！ く……。私の苦労は一体、なんだったの……」
51. メイド「大変でしたねえ。よくここまで帰られました。えらいですう」
52. 女勇者「誉めないで！ え、え、いや、まって。今のセリフを、もう一度言ってみなさい」
53. メイド「はあい？ 『よくここまで帰られました。えらいですう』ですかあ？」
54. 女勇者「ふふふ。ようやく悪の親玉らしいセリフを言ったわね。それはつまり、『よくここまで来たな。ほめてやろう』ってことでしょう！」
55. メイド「うーん。まあ、そういうことでしょうか？ でも、もう大丈夫ですよね。次はもう、迷わないでお店に帰れますねっ」

56. 女勇者「いや、来ないわ！ お前を倒せば、ここにまた来る必要などないんだから！」
57. メイド「ああん。そんな悲しいことはおっしやらないでくださいあい。エルザお嬢さまがお帰りになるたびに、このカードにスタンプを押させていただきますあす」
58. 女勇者「……それで？」
59. メイド「10個集めると、特別なサービスをいたしまあす」
60. 女勇者「お、教えなさい！ まさか石になったお父様とお母様を、元に戻すと言うんじゃないでしょうねっ！」
61. メイド「特別なサービスですから、内緒なんですう」
62. 女勇者「くっ！ 10回も、この喫茶店に通わせようと言うの。なんてずるがしこいのかしら」
63. メイド「でも、好評なサービスなんですよお。楽しみにしてくださいあい。ところでエルザお嬢さまはあ、普段は何をなされているんですかあ？」
64. 女勇者「言ったでしょ！ お前を倒し、王国を復活させるため、はるばる旅をして来たのよー！」
65. メイド「あらあ、ずっと旅行されてるんですかあ。素敵ですねえ。でも必要なお金は、どうしてるんですか？ 働かないと、収入がなくて大変ですよねえ」
66. 女勇者「モンスターを倒したり、困っている村人を助けたり、宝箱を開けたり、タンスをひっくり返したり、壺を割ったりとかいろいろよ」
67. メイド「短期のアルバイトですかあ。そうやってお金を稼ぎながら旅をするのも素敵ですねえ。その土地土地で、いろんな人と交流したりして」
68. 女勇者「ええ。私が出会った人々は、みんな口々に訴えていたわ。紅の魔女、お前に国をぼろぼろにされた、と。勇者様、あいつを倒してください、ってねー」
69. メイド「エルザお嬢さまのご趣味はなんですかあ？」
70. 女勇者「私の話、聞いてないでしょー！」

71. メイド「そんなことないですよ。紅の魔女を倒してくださいと、みんなに頼まれたんですよ。」
72. 女勇者「そうよ！　そして紅の魔女とは、お前のことでしょう！」
73. メイド「ああん。あたしのごとは、お前じゃなくてアカネと呼んでください。ア・カ・ネ」
74. 女勇者「ア、アカ、ネ」
75. メイド「わああ。エルザお嬢さまが、あたしの名前を呼んでくださいました。嬉しいですよ」
76. 女勇者「う、嬉しいの？　い、いや、待ちなさい。私はお前を喜ばせるために、はるばるここまでやって来たんじゃないわ！」
77. メイド「えー。嬉しいですよ。お帰りになったのも嬉しいですし、名前を呼んでくださったのも嬉しいです。でもじつは、あたしが一番嬉しいのは、頭をなでなでされることなんです」
78. 女勇者「な、なでなで？」
79. メイド「はい。よろしかったら、あたしの頭を、やさしくなでしてください」
80. 女勇者「ひ、人の頭など、なでたりしないわ！　私だって大人になってから、なでてもらったことなんてないのよ！」
81. メイド「あらあ。そうなんです。それはさみしいですよ。では、あたしがエルザお嬢さまの頭を、なでなでして差し上げます。なで、なで、なで」
82. 女勇者「く……なんの……つもり……だ」
83. メイド「嬉しくないですかあ？」
84. 女勇者「う、嬉しくなんかいいわ！　本当よ！　こ、こんなことで、お前を許したりはしないんだからねっ！」
85. メイド「そうですかあ。残念ですよ」

86. 女勇者「そもそも紅の魔女アカネ！ お前は どうしてこんな店で働いているのよ。私にきちんと説明しなさい！」
87. メイド「えー。メイドに、そういうことを聞いちゃだめなんですよお」
88. 女勇者「……そうなの？」
89. メイド「そうなんです。でもあたしは、このお店のコスチュームがかわいくて、着てみたかったからですよ。嘘じゃないです。本当ですよ」
90. 女勇者「り、理解できないわ。サイルリア王国を滅ぼした紅の魔女が、洋服がかわいいという理由で、メイド喫茶に転職ですって？ 世界一残酷と言われた女が、今ではメイドなの？」
91. メイド「あ。お料理ができたみたいですよ」
テーブルに食器を置く音。
92. メイド「はい、お待たせしました。エルザお嬢さまあ。では、お好きな文字を書きませう。何がよろしいですかあ？」
93. 女勇者「『打倒魔女』だ！」
94. メイド「文字数が多いですねえ。じょうずに書けないかもお。だ、と、う、ま、じよ、と。うーん。ちよつと読めないかなあ？」
95. 女勇者「これが、きゅんきゅんオムライスなのか……」
96. メイド「では、おいしくなる魔法をかけさせていただきます。おいしくなあれ！ もえもえ、きゅんきゅん！」
97. 女勇者「も、もえもえ、きゅんきゅん……」
98. メイド「どうぞ、お召し上がりくださいあい」
スプーンのカチャカチャいう音。
99. 女勇者「(ひとくち食べて) お、おいしい。これが魔法の力というやつなの？ なんて恐ろしいのかしら…… (食べる音) 」

- 100.メイド「喜んでもらえて嬉しいですよ」
- 101.女勇者「(食べる音)」
- 102.メイド「エルザお嬢さまあ、ゆっくりと召し上がってくださいあい」
- 103.女勇者「(食べる音)」
- 104.メイド「そんなにあわてるよ、のどに詰まらせてしまいますよお」
- 105.女勇者「(食べる音) ふう」
スプーンを置く音。
- 106.女勇者「ご、ごちそうさま……」
- 107.メイド「はい、おそまつさまでしたあ」
- 108.女勇者「い、いや。私はオムライスを食べに来たんじゃない！ 確かに美味しかったけどー」
- 109.メイド「ほめていただき光栄ですよ」
- 110.女勇者「ええい、まどろっこしいわ！ 会話も食事も、もううんざりよっ。紅の魔女アカネ、私と勝負しなさい！」
- 111.メイド「はい。では、萌え萌えじゃんけんです」
- 112.女勇者「じゃ、じゃんけん？」
- 113.メイド「あたしに勝つと、とっても良いことがあります」
- 114.女勇者「ふふふ。いいわよ。じゃんけんて勝負ね！ 私は決して負けはしない。お前の首、必ず貰うわー」
- 115.メイド「では一緒に『萌え萌えじゃんけん、じゃんけん、ぽん』って言ってくださいよね」
- 116.女勇者「よし、きなさいー！」

117. 女勇者&メイド「萌え萌えじゃんけん、じゃんけん、ぼん！」
118. 女勇者「あーっ！ 負けたっ！」
119. メイド「あたしの勝ちですう！」
120. 女勇者「くーっ。お父様、お母様、倒れていった仲間たち、ごめんなさい。王国のみんな、ごめんなさい。私は、私はっ、最後の勝負に勝つことができなかつたーっ……」
121. メイド「そんなにショックを受けなくてもいいんですよ。勝負は時の運なんですからあ」
122. 女勇者「同情などいらぬわ！ さあ、逃げも隠れもしない。私を殺しなさい！」
123. メイド「エルザお嬢さまはオーバーですねえ。はい、残念賞の、あたしの写真でえす」
124. 女勇者「しゃ、写真？」
125. メイド「サイン入りでえす。おみやげにどうぞお」
126. 女勇者「おみ……やげ？ はっ、これが噂に聞く『めいどのみやげ』というやつ？ そうなのねっ！」
127. メイド「今度はじゃんけんに勝って、一緒に写メを撮りましょうねえ」
128. 女勇者「くっ。わ、私の完敗だわ。今日は……もう……帰るわ。また……くる……」
129. メイド「はい。今日はお帰りいただき、ありがとうございましたあ！ 行ってらっしゃいませ、お嬢様あ！」
- カランカランとドアベルの音。
ちよっと間。
130. メイド「エルザお嬢様……。ちよっと変わった、お客様ですわねえ……。あたしの記憶喪失と……何か……関係があるのでしょうか？」
131. 店員「アカネちゃん、ご主人様がお待ちよー」
132. メイド「……あ、はい！ メイド喫茶、トリニティムーンにお帰りなさいませえ！」

END